

たちつやとちぎ

2023

9

Vol.270

JA全農とちぎ 通信



特集

とちぎの梨のシーズン到来！
とちおとめ・にっこり梨が
アサヒ飲料・伊藤園とコラボ！

トピックス

「とちぎ和牛」 若手の力でブランド力向上へ
春の栃木米キャンペーン 当選者を決定
いちご消費宣伝事業委員会を開催
トマト消費宣伝事業委員会を開催
栃木県産麦 需給ミスマッチ解消へ向けて協議
部門横断で“SDGs”理解へ
「推進担当者ミーティング」を9年ぶりに実施
クルールフェスで栃木のお米・お花をPR
JAエルサポート&JAなすのが冠試合

CONTENTS

- ・お知らせ
JAうつのみや女性大学
とちぎゆめパークオリジナル弁当作り
- ・子牛市場情報
- ・JAタウンからのお知らせ
- ・行事予定
- ・編集後記



©栃木県 とちまるくん

JAグループ栃木 / JA全農とちぎはSDGsが目指す社会の実現に貢献しています

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS





大田市場でとちぎの梨をPR

園芸部は8月18日、東京都中央卸売市場大田市場において「令和5年産とちぎの梨トップセールス」を行いました。生産者やとちぎフレッシュメイト、本会職員らが、本格的な出荷を迎える「とちぎの梨」を仲卸や買参人へPRしました。

当日行った現地での生産者あいさつや試食宣伝は、コロナ禍の影響で4年ぶりの実施となりました。当日は試食として梨「幸水」を振舞い、多くの市場関係者へとちぎの梨の美味しさをアピールしました。

生産者を代表し、栃木梨消費伝事業委員会の鈴木俊介委員長（JAなすの）は「今年の梨も糖度が高く、消費者に満足してもらえるものに仕上がった。生産者一同、心を込めて作ったとちぎの梨を多くの消費者に届けてほしい」と市場関係者へ呼びかけました。



市場関係者にとちぎの梨をPR



挨拶をする鈴木俊介委員長(右)



とちぎフレッシュメイトらが梨の試食を配布

幸水梨の目揃え会を開催

園芸部は7月25日、「令和5年産とちぎ幸水梨統一目揃え会」を開催し、各JAの梨部会長、市場関係者、県の担当者ら約50名が出席しました。

販売情勢や生育状況の報告を行い、県からは「今年は生育の進みが例年より早いので、取り遅れののないよう気を付けてほしい」と注意喚起がありました。また、カラーチャートなどの申し合わせ事項の確認、現物目揃えを行い、県全体での出荷規格の統一を図りました。

市場関係者からは「とちぎの梨に対する期待は大きい。出荷規格を遵守し、品質にこだわった出荷をお願いしたい」といった要望がありました。



幸水梨の現物目揃えの様子

特集

とちおとめ・にっこり梨が アサヒ飲料・伊藤園とコラボ！

「国産いちごラテ&カルピス®」

JA 全農「ニッポンエール」×アサヒ飲料株式会社「カルピス®」がコラボ！

JA全農は、アサヒ飲料株式会社と連携し、国産農畜産物の消費拡大を図るため、栃木県産とちおとめを使用した飲料商品「国産いちごラテ&カルピス®」を8月15日より全国発売しました。

JA全農の商品ブランド「ニッポンエール」とアサヒ飲料の「カルピス®」ブランドのコラボ商品は、「日本の第1次産業を支える」をコンセプトに、これまで2商品を発売しており、本商品は第3弾となります。

甘さと酸味のバランスが良い「とちおとめ」はカルピスとの相性も抜群です。国産牛乳と合わせることで、**まるやかで後味すっきりとした味わい**に仕上がっています。

—商品概要—

- ・商品名：国産いちごラテ&カルピス®
- ・発売日：令和5年8月15日(火)
- ・発売範囲：全国のコンビニ、量販店、一般店
- ・価格：160円(税別)(希望小売価格)
- ・内容量：500ml
- ・原料供給元：JA全農とちぎ



JA全農とアサヒ飲料(株)



試飲をする福田県知事(中央)

8月3日には、アサヒ飲料株式会社と栃木県庁を訪れ、福田県知事に発売報告をしました。試飲をした福田県知事は「とちおとめの爽やかな甘酸っぱさと香りがふわっと口の中に広がる。見た目も可愛い、人に勧めたくなる」と太鼓判を押しました。

「栃木県産にっこり梨」

JA 全農「ニッポンエール」×株式会社伊藤園がコラボ！

株式会社伊藤園と連携し、栃木県産にっこり梨を使用した飲料商品「栃木県産にっこり梨」を8月7日より全国発売しました。

日本なしの生産量が全国的にも減少する中、県オリジナル品種「にっこり梨」を使用した商品を開発、販売することで日本なし「にっこり梨」の認知拡大・消費拡大を目指します。

栃木県産「にっこり梨」ならではの、**みずみずしく上品な甘さと爽やかな香り**が楽しめる清涼飲料水です。低果汁でありながら「にっこり梨」の果汁感を味わうことができます。

—商品概要—

- ・商品名：栃木県産にっこり梨
- ・発売日：令和5年8月7日(月)
- ・発売範囲：全国のコンビニ、量販店、一般店
- ・価格：160円(税別)(希望小売価格)
- ・内容量：500g
- ・原料供給元：JA全農とちぎ



JA全農と(株)伊藤園



試飲をする福田県知事(中央)

8月8日には、株式会社伊藤園と栃木県庁を訪れ、福田県知事に発売報告をしました。試飲をした福田県知事は「さっぱりしていて疲れもとれそうだ。にっこり梨はインバウンド需要も高いので、生果も観光客へPRしていきたい」と話しました。

「とちぎ和牛」 若手の力でブランド力向上へ



若手経営者組織『とち和会』発足

JAグループ栃木和牛販促委員会（事務局：本会畜産部）は7月26日、「とちぎ和牛」の若手経営者組織『とち和会』の発足式を行いました。

生産者の高齢化や生産費高騰など、「とちぎ和牛」の生産基盤の維持・拡大が難しい状況となる中、県内の次世代を担う若手経営者が『とち和会』として団結し、若手の新たな視点での販促活動の実施や、研究会・情報交換などを通じて更なるブランド力向上と生産拡大を目指します。

『とち和会』には現在55名が参加し、初代会長には横尾光広さん（JAかみつが）が就任しました。横尾会長は「とちぎ和牛がどうあるべきか、会員同士意見を出し合いながら若手ならではの視点で県内外の消費者へ効果的にアピールしていきたい」と意気込みました。



一致団結する『とち和会』の会員ら



『とち和会』会長挨拶（横尾さん）

春の栃木米キャンペーン 当選者を決定

米麦部は7月27日、4月1日から7月7日までの約3か月間実施した「春の栃木米キャンペーン」の抽選会を行いました。対象商品に貼付された二次元コードによるWeb上での募集を行い、応募総数16,072件となりました。

抽選会当日は、U字工事自ら抽選を行ったS賞の「U字工事との稲刈り・温泉ツアー」の当選者へ向けたビデオメッセージを放映したほか、A賞・B賞のオリジナルグッズなど合計360人の当選者を決定しました。

抽選を行った中村県本部長は「テレビCMをはじめ、WEB広告やSNSを活用した情報発信、店頭での試食販売も再開し、栃木米のプロモーションをより強化している。今後も産地とちぎのブランド力向上に努めていく」と意気込みました。

S賞の稲刈りツアーは9月30日(土)に実施予定です！



抽選を行う中村県本部長



稲刈り楽しみすぎて
コメんね米んね～

いちご消費宣伝事業委員会を開催

12 つくる責任
つかる責任



園芸部は7月27日、「令和5年産いちご 第2回栃木いちご消費宣伝事業委員会」を開催しました。各JAのいちご部長や担当者、県など約40名が出席し、令和5年産いちごにおける消費宣伝事業の活動報告や、令和6年産の事業方針などを協議しました。

令和5年産の販売ではコロナ禍で制限を受ける中、売り場づくりや推奨販売など、シーズンを通じた販促活動を行い、販売金額では過去最高の267億円を達成しました。

令和6年産の販売では30～40代の子育てファミリー層をターゲットに、首都圏及び県内における売り場づくりを中心とした店頭宣伝活動・試食宣伝活動に重点的に取り組むとし、加えてメディアの活用等を通じて「栃木のいちご」の露出拡大を図ることなどを確認しました。



トマト消費宣伝事業委員会を開催

12 つくる責任
つかる責任



園芸部は8月21日、「令和5年度 第2回栃木トマト消費宣伝事業委員会」を開催しました。各JAのトマト部長や担当者、県など約40名が出席し、令和5年度の消費宣伝事業の活動報告や令和6年度の事業方針などを協議しました。

令和5年度はコロナ禍で制限を受ける中、可能な範囲で店頭販促を実施したほか、メディアやSNSを活用した各種PRに取り組みました。

令和6年度は首都圏の主婦層をターゲットに店頭での販促に力を入れ、厳寒期の消費拡大と、シーズンを通じた売り場の維持・拡大を目指すことを確認しました。また、認知度向上を図るため、「毎月10日は栃木のトマトの日」の取組みを活用した消費宣伝活動を展開していくとしました。



栃木県産麦 需給ミスマッチ解消に向けて協議

12 つくる責任
つかる責任



米麦部は8月3日、宇都宮市内で「令和5年度栃木県麦民間流通連絡協議会」を開催しました。生産者、実需者、JA担当者、行政関係者ら約60名が出席し、県産麦について情報提供や意見交換などを行いました。

情勢報告では、農林水産省からは国内産麦の需要と生産について、県からは麦の生育概況についての情報提供などがありました。

協議事項では、本会がそれぞれの麦種・銘柄の販売予定数量と購入希望数量の総括状況を報告した上で、作付転換や作付拡大の推進を進めるなど需給ミスマッチ解消に向けた対応策を示しました。また、入札上場比率やアローワンスの設定についての協議も行いました。

実需からは、数量の増産・拡大を希望する意見や「防虫対策や異物混入防止を徹底してほしい」などの要望がありました。



部門横断で“SDGs”理解へ

「SDGs部門横断プロジェクトミーティング」初開催

本会は今年度より「栃木県本部2030年全体ビジョン」を掲げ、その中で環境保全型農業の実現に向けた取り組みを推進しています。

7月25日、持続可能な開発目標 (SDGs) に関して、職員の理解促進および部門間連携の取り組み拡大を図るため、「SDGs部門横断プロジェクトミーティング」を開催しました。

当ミーティングには各部門から2～3名の代表者が選出され、計20名が参加しました。当日は、SDGsに関する講義を受けた後、現在行っている事業や取り組み・日頃の業務の振り返りや今後取り組んでいきたいことなどについて、SDGsの観点から部門横断でグループワークを行いました。

参加者からは「普段の業務がSDGsに繋がっていることに気づき、自分ごととして捉えられるようになった」「すでに取り組んでいるものは積極的に外にアピールしていきたい」といった声が上がりました。



SDGsについての講義を受ける参加者



ポストイットを使ってアイデア共有



SDGsと紐づけた取り組みをバリューチェーン上にマッピング

「推進担当者ミーティング」を9年ぶりに実施

本会は8月8日、「令和5年度推進担当者ミーティング」を実施しました。このミーティングは、部門間の情報共有化とJA支援等の実践に繋げる場として、推進上の課題・問題点を自由闊達に議論し、課題解決に向けたヒントを掴むことを目的に、9年ぶりに行いました。

当日は各部門のJA・担い手推進担当者約50名が一同に介し、前半は管理部総合支援課より県内の農業やJAの情勢と、JAの経営基盤確立強化に向けたJA支援の取り組みについて説明を行い、後半はグループ討議および意見交換を行いました。

出席者からは、「同じ推進JAの担当者間で意見交換ができて、親睦が深まった。また、お互いの業務内容の理解が高まったので、これを機に部門間連携にも力を入れていきたい。」と前向きな意見が多数挙がりました。本会として今後も、担い手・JA支援の取り組みを更に強化してまいります。



総合支援課による情勢・取り組み説明



グループで意見交換

クールフェスで栃木のお米・お花をPR

米麦部と園芸部は8月18日～19日の2日間、宇都宮市内で開催された「クールフェス」に栃木米ブース・花育ブースを出展し、栃木のお米とお花でイベントを盛り上げました。県内の家族連れを中心に、多くのお客様でにぎわう会場でPRを行い、栃木県産米や栃木県産花きの知名度向上・販売促進を図りました。

米麦部は『栃木米ブース』として、アンケートに回答いただいた方やSNSをフォローしていただいた方に「とちぎの星」パックごはんや栃木米グッズをプレゼントしました。

園芸部は『花育ブース』として、100円ショップのアイテムで作るフラワーラッピングのワークショップを開催し、消費者の方に実際に県産スプレーマムの花束を作っていただきました。

2日間で、会場を訪れた多くの消費者の方に栃木県産米と栃木県産花きの魅力をPRすることができました。



多くのお客様でにぎわう会場



食卓をイメージした空間にとちぎの花を展示

JAエルサポート&JAなすのが冠試合



BCリーグ公式戦でPRイベントを実施

株式会社JAエルサポートとJAなすのは7月30日、那須塩原市内で開催されたBCリーグの公式戦（栃木ゴールデンブレースvs茨城アストロプラネッツ）で、来場者に対してJAタウンギフトカードやガソリン券、農産物が当たる抽選会を実施し、PRを行いました。会場に駆け付けたとちぎフレッシュメイトからは、来場者へ先着でノベルティが配布されました。

JAエルサポート・JAなすのはそれぞれ「とちぎの星」・「JAなすのの農産物」を両チームへ贈呈し、試合前の贈呈式ではJAエルサポートの久保常務から栃木ゴールデンブレースへ、JAなすのの伊藤組合長から茨城アストロプラネッツへ目録が手渡されました。



贈呈の様子（左：久保常務 右：伊藤組合長）



ノベルティを配布して来場者へPR

お知らせ

JAうつのみや女性大学 とちぎゆめポークオリジナル弁当作り

栃木推進課の管理栄養士が料理教室で講師

JAうつのみや女性大学では、地域住民の皆様とのつながりを深めることを目的に、管内にお住まいの女性を対象に農業・生活・文化などに関する年3回の講座を通して交流を図っています。

7月27日、JAうつのみや女性大学の19人の女性を対象に料理教室が開催され、JAふれあい食材のメニューを監修している2名の管理栄養士が講師を務めました。

今回の料理教室ではJAうつのみや産のとちぎゆめポークや地元野菜、エコープマーク品等を使用した「とちぎゆめポークオリジナル弁当」作りを行いました。講師の管理栄養士らが地元食材と安心・安全な材料を基に、自らレシピを考案しました。参加した地域住民の皆様には楽しんで調理していただき、地元食材の美味しさを味わっていただける良い機会となりました。



参加者に調理方法をアドバイス



オリジナル弁当

実際に作ったオリジナル弁当のレシピの一部をご紹介します♪

とちぎゆめポークの冷しゃぶ ～ぽん酢ジュレ掛け～

<材料>(2人分)

- ・とちぎゆめポーク バラしゃぶしゃぶ用 … 200g
- ・アスパラガス …………… 4本
- ・水 …………… 1カップ
- ・アガー …………… 5g
- ④ 味付けポン酢 …………… 大さじ3
- 鶏ガラスープの素 …………… 小さじ1



■作り方■

- ① 小鍋に水を入れ、アガーを少量ずつダメにならないように加え、全体が混ざったら火を付け軽く沸騰させる。
- ② ①に④を加えて混ぜ、粗熱を取って冷蔵庫で冷やし固める。
- ③ 鍋に湯を沸かし、豚肉を入れて火を通し、ザルにあげて冷ます。
- ④ アスパラガスは長さを4等分にし、サッと茹でる。
- ⑤ ③と④を盛り付け、②をフォークで粗めに崩し、上からかける。

揚げ茄子とじゃこの香味だれ

<材料>(2人分)

- ・なす …………… 3本
- ・ちりめんじゃこ …………… 10g
- ・ごめ油 …………… 適量
- ・糸唐辛子 …………… 適量
- ④ 昆布だしすしお醤油 …………… 大さじ2
- 砂糖 …………… 大さじ1
- 酢 …………… 大さじ1
- ④ いりごま(白) …………… 大さじ1
- 純正ごま油 …………… 小さじ1
- 万能ねぎ(小口切り) …………… 2本



■作り方■

- ① なすはヘタを取り、長さを半分にして縦に4等分にする。
- ② 熱した揚げ油で①を素揚げし、しっかりと油を切って器に盛り付ける。
- ③ フライパンに油を熱し、ちりめんじゃこを入れてカリカリに焼く。
- ④ 混ぜ合わせた④を②に回しかけ、③を散らして糸唐辛子をのせる。



子牛市場情報

令和5年度8月矢板家畜市場成績書

	性別	上場頭数	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重(日令)	単価(kg)	前回比
1日	雌	176	174	861,300	243,100	503,932	293(289)	1,715	15,089
	雄	—	—	—	—	—	—	—	—
	去勢	210	209	1,042,800	277,200	680,536	324(286)	2,097	21,495
	合計	386	383	1,042,800	243,100	600,304	310(287)	1,933	8,213
2日	雌	160	160	1,102,200	210,100	527,587	288(289)	1,827	25,714
	雄	—	—	—	—	—	—	—	—
	去勢	174	174	1,012,000	220,000	699,625	325(287)	2,147	99,379
	合計	334	334	1,102,200	210,100	617,211	307(288)	2,003	59,016
8月期合計	雌	336	334	1,102,200	210,100	515,264	291(289)	1,768	19,926
	雄	—	—	—	—	—	—	—	—
	去勢	384	383	1,042,800	220,000	689,208	325(286)	2,120	57,407
	合計	720	717	1,102,200	210,100	608,180	309(288)	1,966	32,281
概況	<p>8月の矢板家畜市場は、720頭上場にて717頭が成立し、前年同月比27頭増となりました。平均価格は対前月比雌19,926円高、去勢57,407円高となりました。</p> <p>7月期全国市場平均価格よりも高い価格での取引となりました。</p> <p>購買者数 1日目：147人 2日目：150人</p>								

○次回開催/2023年9月7日～8日 出場予定:各350頭(2023年10月の開催は、2日・3日です。)

とちぎ新鮮倉庫からのお知らせ



季節商品のご紹介

「豊水」

とちぎの梨第二弾「豊水」の出荷が始まります！甘みと酸味のバランスがとれた、シャリシャリ食感も楽しい品種です。

9月は他にも大玉の「あきづき」も掲載予定となっておりますので、是非チェックしてみてください♪



とちぎ新鮮倉庫



9月の行事

- 7日(木) 矢板子牛市場 畜産部
- 8日(金) 矢板子牛市場 畜産部
- 30日(土) U字工事稲刈りツアー 米麦部



★1日・22日(金) CRT栃木放送(7:33～)

★6日・13日・20日・27日(水) RADIO BERRY(17:15～)

編集後記

9月です。毎年、稲穂の実った田んぼを見ると「日本人でよかったなあ」と思います。黄金色が本当に綺麗です。ぼちぼち新米の時期ですね！

お米をたくさん食べたいので、この秋は、自分の中でのベスト“ごはんのお供”を探したいと思います。ちなみに私の数年不動の推しはゆかりのふりかけです。皆さんのおすすめもぜひ教えてください(^^) (みう)





JA全農とちぎ

〈主催元〉JA全農とちぎ 園芸総合課

とちぎの花 スタンプラリー

Tochigi's Flower Stamp Rally

〈実施期間〉

2023年8月7日(月)~11月30日(木)

スマホで二次元コードを
スキャンして、
スタンプラリーの
サイトを開いてください!

宇都宮市内用



宇都宮市外用



©栃木県とちぎまもろ

応募方法

「とちぎの花販売協力店」で、栃木県産の花を1,000円(税込)以上お買い上げで、1スタンプがもらえます。スタンプを3つ集めると豪華賞品が当たる抽選会にご応募いただけます。

スタンプは3つとも違うお店で集めてください

1名 JAタウンギフトカード
5,000円分

5名 栃木の農産物
※イラストはイメージです

1名様何回でも応募できます!

お使いの端末にてキャッシュを削除していただくことで、スタンプラリーに複数回ご参加いただけます。キャッシュ削除の手順は下記ご参照ください。

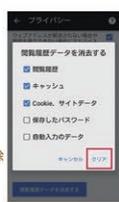
iPhone利用者

Android利用者

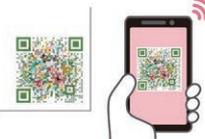
- 設定
- ↓ safari
- 履歴とWebサイトデータを消去
- ↓ 履歴とデータを消去
- ↓ キャッシュが削除



- Chrome 右上
- ↓ 設定
- プライバシーとセキュリティ
- ↓ 閲覧履歴データの削除
- ↓ キャッシュが削除



Step 1 スマホでポスター記載の二次元コードをスキャンします



Step 2 お花屋さんで1,000円以上お買い物をするとスタンプ1つGET!



Step 3 スタンプ3つ集めたら専用フォームから応募できます



この印刷物は環境にやさしい植物性インクと再生紙を使用しています。



私たち全農グループは、生産者と消費者を安心で結び懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的取り組みます。